遠山廉子

三編

種彦作
國貞画

榮久堂梓

へ13
3902
5

種彦作
國貞画

天保
壬辰
春新版

上

門へ13
3902
5

天保三壬辰春

御誂染遠山鹿子

三編上

柳亭種彦作

歌川國貞画

榮久堂梓

一

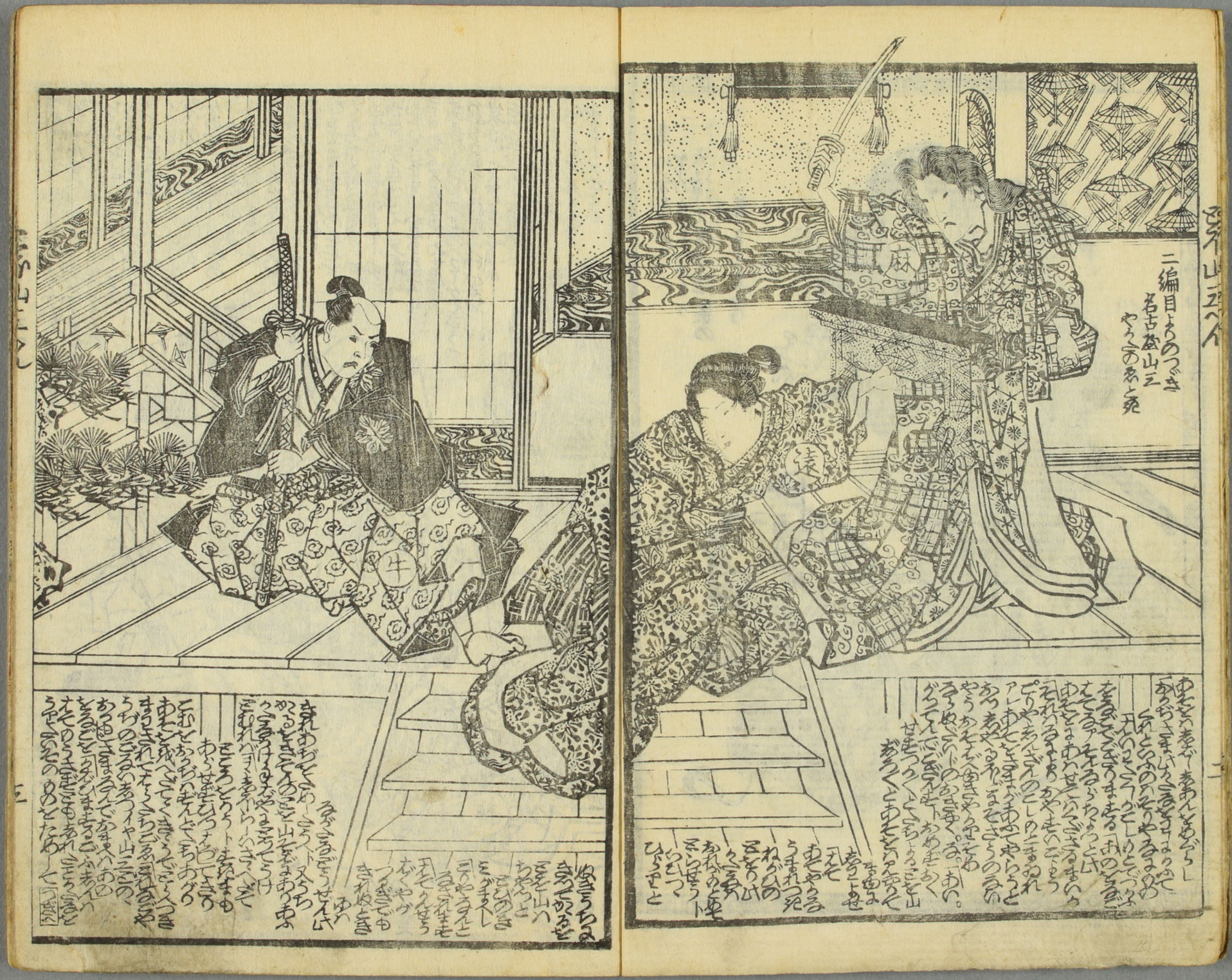
京ゝ下ッる方作が見臺ひゝて一晩ゐ三十五十の落し話も今でハ一話ゞ五晩續後ゐ道具をかざりつけ前ゐ燭臺の仕ゝけを音曲ゐ絶妙役者の身振とくらべバ丸芝居を見るゞ如し繪冊子も又如此崩の娘入舌きり雀僅五枚ゐ十枚でゑんと子どゐ衆ゞんゝく今の浮世ハおゝる衆ゐも合點のゆゝぬチンプンカン長物語ゞ流行ゐれとそれハ上ゝるのうゝのゝと予如き下ゐ作者ハ皇國学の音曲も漢学の声色もちゝともゆゝ弱び根本の素續長谷川ゐゝ以歌川へあゝゝへさ繪の道具だそれをたのゝゐハ是で三晩目「いよゝ明後日ハ大切六角の舘まゝゝあゞけまゝ相かゝらゞ来賀ゐの程を願ひあゞけます」さてト扇をゝりあゞゞ物ゞゝりの發語あるべ

天保壬辰春

柳亭種彦

發端
初編の巻首

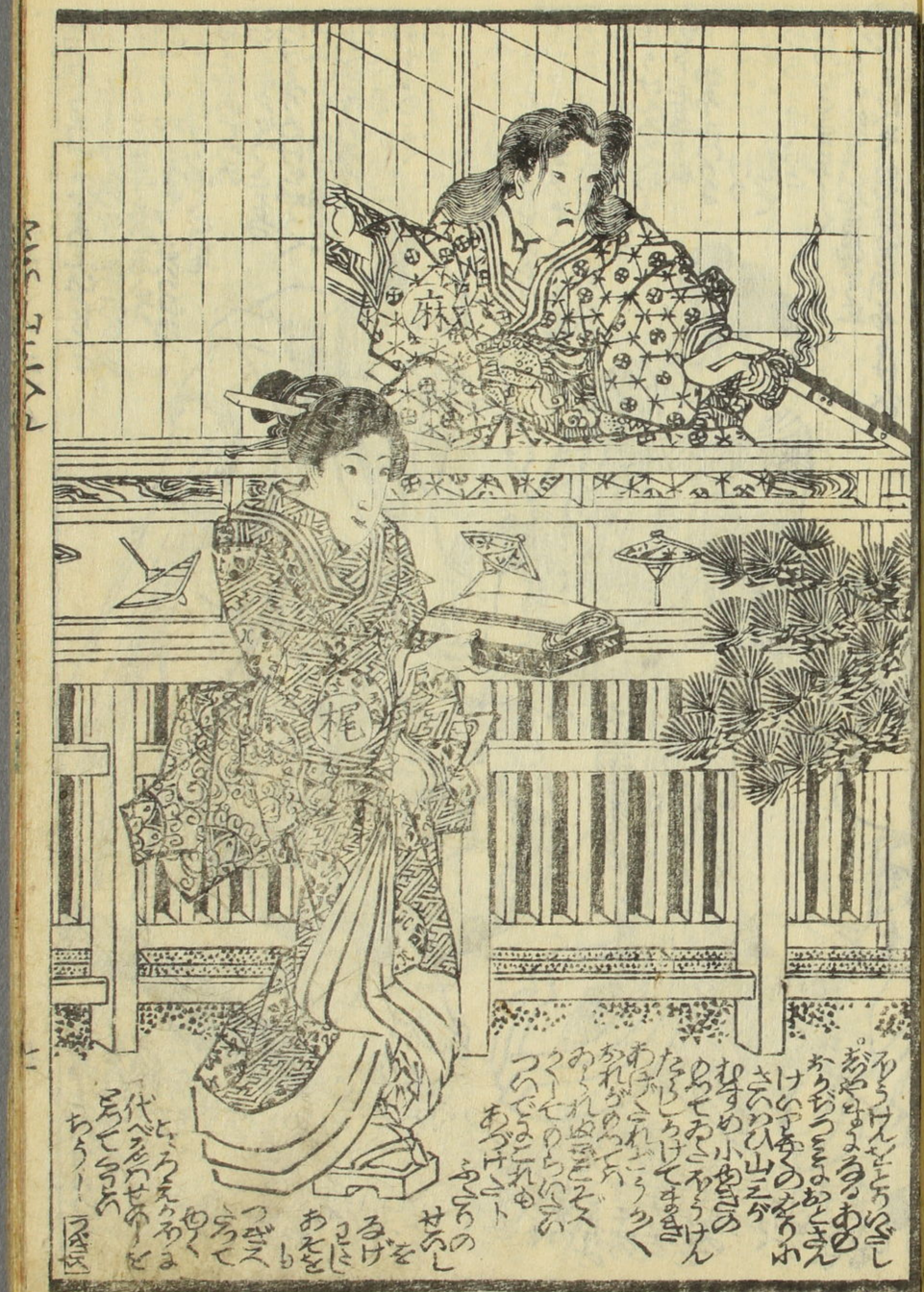
大津又平が住家の


二編目よろのつづき
名古屋山三
やくしの名と死

杏
梶
麻

牛
代
梶
杏
栗

二の巻
雪
月
花


麻
梶

杏

牛
梶
代
杏
徒

梶
代
杏
牛

不破名古屋 訛沈木遠山鹿子 三編 四編 歌川國貞画

先年より賣出し一冊覧ぜられくる初編二編ハ揚屋の場より山三が館の半ゆーて筆をとめくり今年あらたまる三編四編ハ名古屋がたちひの續より大津又平の住家ゆ至れバ相かたちぞ沈むとめの程奉希ハ

小説梅花扇 全八冊 前北齋 爲一翁画

お好きなる方もおぞんじの和泉内のその後ゆ朱一貫といふつよい人六安といふ悪王をあらぬ世を扇の絵ざらしるりされどちんふん漢字をつひ物知りめーく作ゆあーぞ狂言ゆも浄瑠璃ゆもるりさう史ゆろよく絵のもやうのめづらーき合巻ゆさらくバ浄もこめのちハ

右両種作者 柳亭種彦

江戸よりー町あやぢ橋角絵冊子問丸 山本屋平吉板

遠山鹿子 三編

下

山本屋板

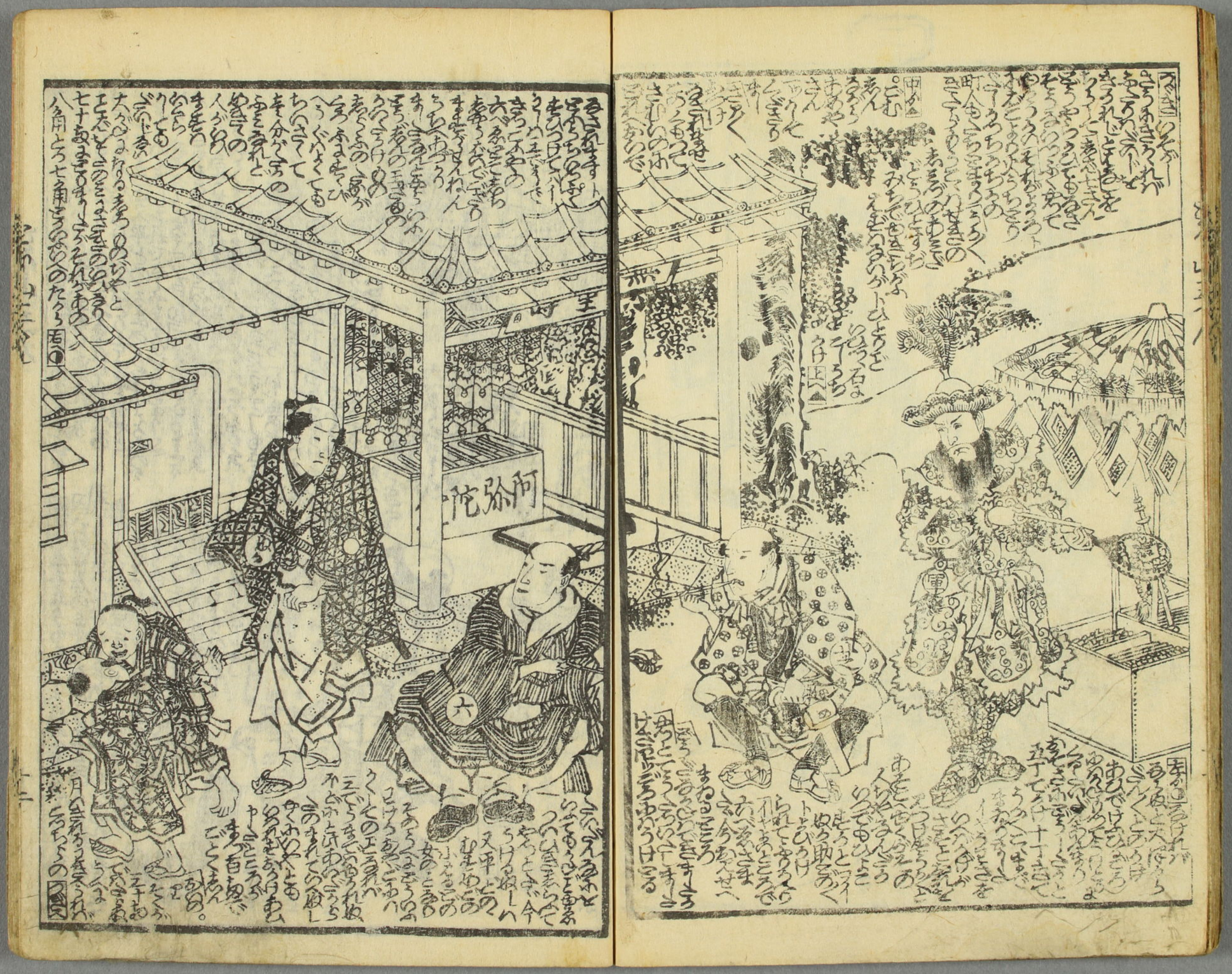
遠山康子

三編 下冊

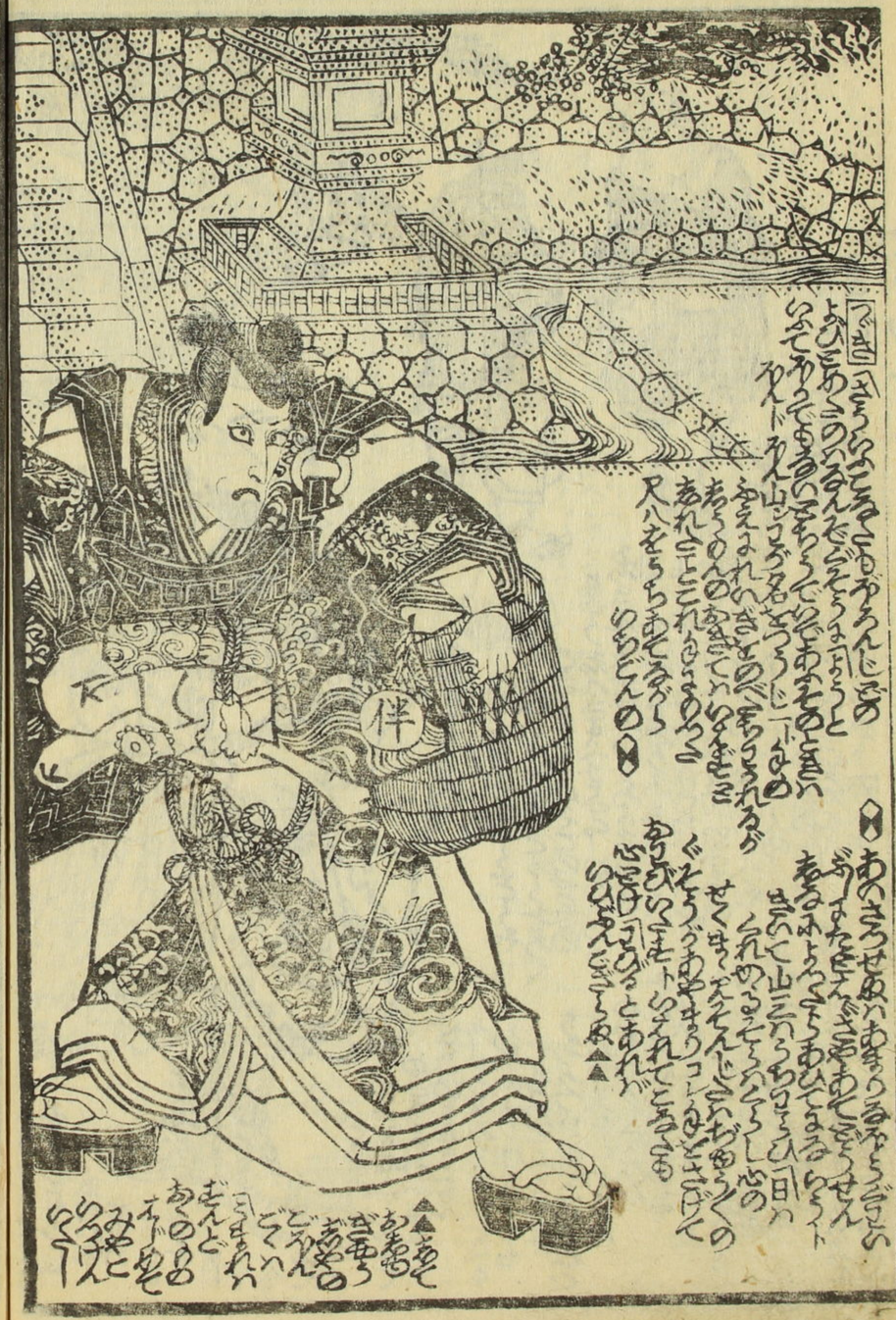
種彦作

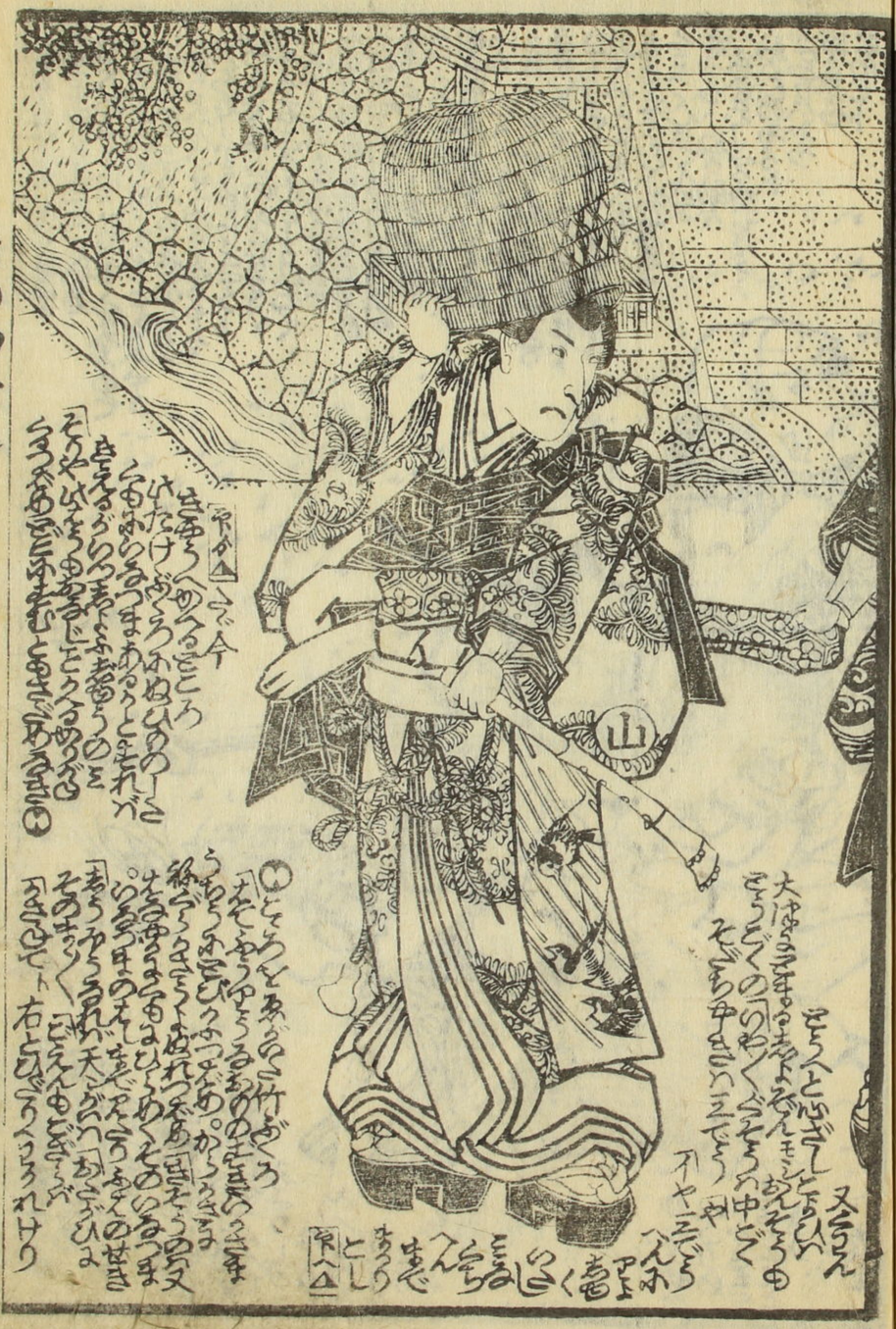
國貞画

山本屋版


阿弥陀

関の清水
軍
左へ
右へ
左へ
つゞき


伴


山

ぬ
ぬ
軍

春
又平もとの家のあるとき

奉献
御宝前
竹吉

春
竹
又

軍
笠

春
大

國貞画種彦作

天保三辰春発新刻稗史目録

固国 戯場梗概 鶴屋南北作
五渡亭國貞画 全十二冊

唐人金琥波 式亭虎之助作
二人藻右衛 五柳亭徳外作
花鳥鮫系山 吾妻花野縁裏襠 六冊
二子傾城 同 画

かぶき紙 墨川亭雪麿作
歌川豊国画

風流列女傳 三編 六冊
歌川豊國画

春霞ゆめ乃廓 全六冊
歌川国芳画

梅暦魁草紙 全六冊
歌川国安画

菊壽童後日盃 山東庵京山作
全六冊
香蝶樓國貞画

國性爺合戦 麻呂作
全六冊
歌川國虎画

美艶仙女香 一包 四十八銅
美玄香 同断
坂本氏

江戸トリ町河岸親仁橋角
栄久堂 山本平吉板

天保六乙未歳正月

島澤